

おしえて
んだんだばんだ!



んだんだばんだ

「ミエ〜ル通信」オリジナルキャラクター

今回のテーマ 「農地の集積・集約化のために
農業委員会ではどんな活動しているの？」

集落の座談会や話し合い・意見交換会に参加することも、大切な活動のひとつ
なんだ!!

どんな人たちが集まるの？

地元の農業を考える会や若手農業者の会、農業委員・農地利用最適化推進委員、JA、
地元の農家が集まるんだ☆

どんな話をするの？

農業委員・農地利用最適化推進委員は、その地区の農業の課題や問題を確認し合ったり
共有するために現状を話したり、担い手を探している農地などの情報を伝えたりするんだ!!

集落や地区ごとに話し合うことで、困りごとや悩みを解決するためにはどんな活動
が必要か見えてくるんだ☆

そして、農地や特色を活かしながら未来へ残し、新しい担い手につなげるんだ☆



PICK UP

福島市農業委員会の委員は、一人ひとりが、日々の活動を「活動記録簿」に記録しています。
このコーナーでは、委員の普段の活動を「活動記録簿」から抜粋して紹介します☆

集 担い手への農地集積・集約化

- 近隣農家から遊休農地の利用権を設定したいと相談を受け、貸主借主双方にアドバイスし、申請書を作成した。
- 自宅周辺で水田を増やしたい農家から相談を受けた。
- 農事組合の会議に参加し、担当地区内の耕作面積が減少していることなどを話し合った。
- 地元農振会主催の「地元地区の今後の農業振興を考える会」に出席し、話し合った。

集落や地域の話し合いの場に参加し、地域ごとの課題や問題を、その地域の人たちと共有することも重要なんだ!



11月から1月の活動記録

遊 遊休農地の発生防止・解消

- 農地パトロールで新たな遊休農地を発見した。継続して監視を強める。
- 農地所有者に、耕作の意思確認および遊休農地発生防止のため指導した。
- 現在遊休農地になっている農地を、今後どうするか地主と話し合った。
- 地区の協議会に参加し、遊休農地について話をした。

遊休農地を発生させない活動は環境保全にもつながるんだ☆



新 新規参入の促進

- 県外から福島へ移住して農業を始めたいという相談にのった。
- 定年退職後、新規就農を視野に入れ、農家で働いていた方から、今後について相談を受けた。
- 新規就農の相談を受け、野菜を作付けできる畑をあっせんした。
- 貸借の契約解除になる梨畑を、新規就農者に声掛けし、栽培してもらうようにした。

その他

- 剪定枝処理のための無煙炭化器実証実験に参加した。

できた炭は畑に撒くと土壌改良に効果アリ!



- メンター役として、ぶどう畑の案内と説明をした。
- 農業者年金加入推進セミナーに参加した。
- 農作業賃金・農作業料金標準額の調査をした。